

1 **ホリスティックな視点から多様性との関わり方を問う実践**

2 **—社会科におけるダイバーシティ教育—**

3
4
5
6
7

幸田 隆（豊田市立東保見小学校）

【キーワード】ダイバーシティ教育，多様性，ホリスティック

1. はじめに

今まで，異文化間コミュニケーション／マネ
ジメント関連の企業研修の講師として，その後，
国際理解教育，ESD，インクルーシブ教育を中
心に実践研究を重ねる小学校の教員として，多
様性との関わり方を学ぶ教育（以下，ダイバー
シティ教育）に携わってきた。本発表では，自
らの経験を振り返って，ダイバーシティ教育の
目的・内容・方法を提案していきたい。
10 ホリスティックな視点とは，物事を全体的
に捉えるホリスティック教育における「つなが
り」「つりあい」「つつみこみ」「つづけること」
という4つの視点（成田2013）である。

ダイバーシティをあらゆる異なる群として
15 包括的に捉え，国籍・エスニシティ・宗教・ジ
ェンダー・性的志向・障害の有無・年齢差等の
文化的・社会的な多様性，身体的特徴・考え方
・感じ方・学び方・在り方・価値観等の個人的な
多様性，経済的・政治的多様性，地域多様性，
20 生物多様性等を含めて，教育の在り方を考える。

2. ダイバーシティ教育の目的

ダイバーシティ教育の目的を次に定義する。
「多様性を理解・尊重・活用して、『自立・協
働・共創』する資質・能力を育成すること」
25 ・自立：当事者意識と自尊感情を高め，
 主体的に考え，主張し伝え合う。
 ・協働：相手意識と他尊感情を高め，寛容に
 受け入れ，協力し響き合う。
 ・共創：目的意識と共尊感情を高め，柔軟に
30 変化し，すべての人にとって，より
 よい人生と社会を共創し高め合う。
 よりよい社会は，平和で民主的な／公正で持
 続可能な社会とする。

3. ダイバーシティ教育の内容

35 (1) 知識・技能

① **ダイバーシティ教育の必要性** 「つながり」
多様性との関わりを意識する機会が増えて

いる社会変容の実態。例として，日本における
外国人数，国際結婚とダブルの数，オールドカ
マーとニューカマー，移民法改正，政府の観光
ビジョン・訪日外国人旅行者の推移，LGBT 児
童への対応に関する文科省の通知，障害者差別
解消法を挙げたい。

② **多様性** 「つりあい」「つつみこみ」
45 国籍・エスニシティ・宗教・ジェンダー・性
 的志向・障害等が異なる相手の特性を理解する
 ことで自他を尊重する心を培う。

③ **多様性との関わり方** 「つながり」
50 関わり方の種類は，ポジティブな「尊重・包
 摂（インクルージョン）・共生」，ネガティブな
 「差別・排除（エクスクルージョン）・分離」，
 両面性をもつ「活用／利用」に構造化できる。
 関わり方の段階の枠組みとしては「排除 →
55 同化 → 分離（棲み分け） → 共生」（にしやん
 た2018）を用いることができる。

重要な概念としては，人権課題（偏見，ステ
レオタイプ，差別，いじめ，ハラスメント，権
力，特権，身分制，スケープゴート，マイノリ
ティ等），民主主義（法の支配，基本的人権の
60 尊重，個人の尊厳，メディア・リテラシー等），
 共生社会（多文化共生，自然共生，地域共生，
 インクルーシブ教育，ユニバーサル・デザイン
 等），ESD の構成概念「相互性」を挙げたい。

④ **多様性の影響** 「つながり」
65 ポジティブな面は，個人や社会の成長につな
 がる価値「自立・協働・共創」を生み出す影響
 である。ネガティブな面は，個人や社会の消滅
 につながる問題「支配・孤立・崩壊」を生み出
 す影響である。持続可能性も尺度となる。

⑤ **人間の弱さ** 「つつみこみ」
70 本能としての攻撃性，攻撃の対象，攻撃性の
 制御法に関する脳科学の知識，人間の不完全性
 の理解が多様性の尊重につながると思える。

⑥ **資料活用** 「つながり」

- 75 (2) **思考力・判断力・表現力** 120 「普通」「よいこと、悪いこと」「自分らしさ」「ルール必要性」等を問う探究的対話。
- ① **思考力** 「つながり」「つりあい」「つつみこみ」
多面的・多角的思考力、総合的思考力、批判的思考力は平和で民主的な社会の基盤である。
- ② **判断力** 「つながり」
- 80 「効率と公正」「幸福、正義、公正」等の枠組みの判断基準を用いて、判断力を高める。 125
- ③ **表現力** 「つりあい」
アサーティブネス（自他尊重の自己主張力）
- (3) **学びに向かう力・人間性**
- 85 ① **メタ認知力** 「つながり」「つつみこみ」「つづける」 130
自分が多様性と、どう関わり、考え、感じているかをリアルタイムで客観視するメタ認知力が人間性の育成で特に重要であると感じる。
- ② **多様性を尊重する態度** 「つつみこみ」
- 90 多様性への関心、広い心（寛容さ・謙虚さ・思いやり）、自己の感情や行動を統制する力。 135
- ③ **多様性を活用して共創する力** 「つりあい」
・自立：アサーティブネス、ピンチをチャンスに変える力 「つつみこみ」
- 95 ・協働：雰囲気づくり、協力する態度、傾聴力 140
・共創：共通ルールの設定、共通目的の明確化、相互のニーズと懸念の確認、相違点と共通点の明確化、お互いのよさを生かした代替案の作成、判断規準の明確化、行動計画、臨機応変な対応力
- 100 4. **ダイバーシティ教育の方法** 145
当日の発表で、詳細を紹介する。
- (1) **概念・枠組みによる関連付け** 「つながり」
- ① **地理的な単元**
- 105 宗教や男女の区別という多様性の尊重、地域多様性の活用、経済的多様性の活用等。 150
- ② **歴史的な単元**
祖先のつながり、外来宗教、中国人・韓国人、社会的身分差との関わり方、女性の参政権等。
- 110 ③ **公民的な単元** 155
基本的人権と人権課題、多様性で棲み分ける学校運営、多様性の活用による価値の共創等。
- (2) **対話活動**
- ① **問い** 「つながり」「つづける」
- 115 多様性、多様性との関わり方、多様性の影響、多様性の価値、前提に関する問い。 160
- ② **話し合い活動** 「つながり」「つりあい」
意思決定、問題発見・解決、合意形成の対話。
- ③ **道徳「哲学対話」** 「つりあい」「つつみこみ」
- 120 (3) **体験活動**
- ① **多様性と関わる日常体験**「つながり」「つづける」
日々の学校生活にある多様性、その場にいる人たちの多様性を題材に学習を展開する。
- ② **多様性を楽しむ体験** 「つつみこみ」
国際理解教育の3F（Food, Fashion, Festival）体験、パラスポーツ体験等。
- ③ **思いやりを育む体験** 「つつみこみ」
- 130 障害体験（妊婦、高齢者、視覚障害者、車いす）、国際協力体験（JICA, NGO）を実践。
- ④ **多様性へのリスペクトを育む体験**
総合を中心にオリパラ教育、移民教育、生物多様性教育をダイバーシティ教育として実施。
- (4) **自己の在り方・生き方への問い**「つながり」
- ① **多様性に関する自分の捉え方** 「つりあい」
『違い』と聞くとどう思うか』を問い、多様性をチャンスと見ているか、ピンチと見ているかという捉え方に関する自己理解を深める。
- ② **多様性との自分の関わり方** 「つながり」
自分は多様性とどう関わっているかを問い、どう関わり、何を大切に生きていきたいかを探究。
- ③ **教師としての在り方** 「つながり」「つづける」
メタ認知を習慣化し、教師としての在り方を常に客観視し、どうありたいかを問い続ける。
- (5) **おもしろい授業づくり**
- ① **身近な興味との関連付け** 「つながり」
- ② **時事問題** 「つながり」
- ③ **視覚支援教材の活用** 「つつみこみ」
- (6) **カリキュラム・マネジメント**
- ① **カリキュラム・デザイン**「つながり」「つづける」
本質的な問いや、ESD カレンダー、各教科等の見方・考え方の多様性を活用し、永続的理解を図り、資質・能力を継続的に育成。
- ② **学年目標によるPDCA**「つながり」「つづける」
- ③ **内外リソースの活用** 「つながり」

【参考文献】

- 成田喜一郎 (2013) 「ESD カリキュラム及び授業デザインの理論と方法：カリキュラム開発の方法を探究する」『東京学芸大学教職大学院年報』第2集, pp. 11-12
- にしやんた (2018) 「外国人から見た日本の多文化共生」『日立財団 Web マガジンみらい VOL. 3

ホリスティックな視点から多様性との関わり方を問う実践

—社会科におけるダイバーシティ教育—

幸田 隆（豊田市立東保見小学校）

R1. 9. 15

発表の流れ

- ダイバーシティ教育の目的、内容、方法について、ホリスティックな視点から提案する。
 つづける・つながり・つりあい・つつみこみ
- ダイバーシティ教育の実践事例を共有する。

ダイバーシティ教育の目的・内容・方法

社会正義：より平和で民主的な社会、より公正で持続可能な社会

寛容さ：自己の在り方・生き方の問い

方法：教師としての在り方、おもしろい授業づくり、カリキュラムマネジメント

内容：共創（共尊感情）、自立（自尊感情）、協働（他尊感情）

目的：知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力・人間性

対話活動、体験活動、多様性に関わる日常体験

概念、枠組みによる関連付け、すべての人・社会にとって成長につながる価値

児童の変容に関する問題意識

- 社会科の単発の授業で、変わるか？
 つづける (社会科の教師として)
- 社会科だけで、変わるか？
 つながり (担任として、体験活動、カリキュラムマネジメント)
- 授業だけで、変わるか？
 つりあい (教師として、自己の在り方・生き方の問い)

多様性のホリスティックな見方

地球の多様性

- 国の多様性：国土、気候、人口、産業、交通
- 地域多様性
- 生物多様性：生態系種、遺伝子
- 政治的な多様性：思想、政策、立法過程、統治機構
- 経済的な多様性：賃金、収入、ニーズ、開発、消費、生産、販売、流通
- 人的多様性
 - 社会的な多様性：国籍、人種、民族、宗教
 - 個人の多様性：興味・関心、考え方、感じ方、学び方、在り方、価値観
 - ジェンダー：性的指向、障害、年齢、身体的特徴
 - 学歴、職種、趣味、所属組織、婚姻状況、親の地位

多様性をめぐる因果応報

多様性の捉え方：違いはチャンス、違いはピンチ

多様性との関わり方：ポジティブ、ネガティブ

人間性（前頭葉）：インクルージョン、尊重、包摂、共生

人間の弱さ（野性/生存本能（視床下部））：差別、排除、分離、エクスクルージョン

多様性の影響：持続可能性、成長につながる価値「自立・協働・共創」、消滅につながる問題「支配・孤立・崩壊」

A児（AD/HD）の変容

学びに向かう力・人間性

メタ認知力

多様性を尊重する態度

多様性を活用して共創する力

プラス面

- 広い好奇心
- チャレンジ精神と行動力
- 批判的思考
- ユニークな発想
- 発言のリーダー
- 派手な仕事が好き

マイナス面

- 譲り合いや協力が苦手
- 感情や行動の制御が困難
 - ・私語
 - ・暴言（偏見、差別等）
 - ・暴力
- 地味な仕事が苦手

つつみこみ

マイノリティの多様性に関する人権学習

泥棒!

概念、枠組みによる関連付け

つづける つながり

A児の偏見、差別発言
→ 人権問題がより身近に!

差別 排除 同化 支配 崩壊

アイヌ 「寒い土地の暮らし」(5年) 「蝦夷地と松前藩」 「これからの日本を考えよう」	同和問題 「厳しく差別されてきた人々」 「山田少年の差別をなくす訴え」 「情報を生かす私たち」5年 「アイリブ」	外国人 「秀吉の朝鮮出兵」 「朝鮮の植民地化」 「関東大震災」 「うわさで殺された事件」 「戦争と朝鮮の人々」=徴用工	震災被災者 「震災復興の願いを実現する政治」 女性 「戦後改革」=女性の参政権 「日本とつながりの深い国々」：サザンクロス(男女の区別)
---	---	---	--

宗教
「キリスト教の禁止と鎖国」

あっていい違いか? **対話活動**

多様性に関わる日常体験との「つながり」

差別 **体験活動** **排除**

身体的特徴 能力差 コミュニケーション

くっさっ! ばい菌! このはげ! どけ、デブ! チビ! くるくるパー!

バカ! 普通はできる! おそっ!

話し方、きもっ! 空気、読めねえ! (障害)

もう、ムリ! (LGBT) 無視! いらぬ! いじめ 自殺

普通は我慢できる! **崩壊**

多様性に関するマイナス面とプラス面の「つりあい」

「朝鮮人、中国人との関わり」 「キリスト教との関わり」

マイナス面 差別・排除、支配など	マイナス面 江戸幕府によるキリスト教排除
プラス面 渡来人、遣隋使、遣唐使の活用による国づくり	プラス面 信長のキリスト教保護(活用)による貿易振興

「震災復興の願いを実現する政治」

マイナス面
震災被災者いじめ・差別

プラス面(尊重)
震災被災で命をかけて中国人研修生を助けた日本人に関する中国の報道

概念、枠組みによる関連付け

総合「Para de リスペクト」

多様性へのリスペクトを育む体験

体験活動 対話活動 カリキュラムマネジメント

A児の本音発言
→ 障害者に対するネガティブ感情の表出
→ 深い学び

自己の在り方・生き方の問い

道徳「哲学対話」：本質的な「問い」の例

つづける つながり

何を大切に生きてみたいか? 平和とは? 戦争をなくすことはできるか? 人は本当に平和を望んでいるか? どうしたら欲をコントロールできるか?

対話活動

どんな社会をつくりたいか? 幸せとは? ふつうって? よいこと、悪いことって何? 命の価値は平等か?

そもそも...

道徳「哲学対話の振り返り：よいこと、悪いことって何？」

対話活動

A児の批判的思考、創造的思考
→ 深い学び

多様性を活用して共創する力

みんな意見がちがって楽しかった。どっちが正しいがないからいい。

学びを名言に!

どんなことがあってもみんなには気持ちがあって、感情があり、自分たちには**義務**がある!

学級経営「個人の多様性の理解・尊重・活用」

持続可能な共生社会の実現

カリキュラムマネジメント

認め合う力 生かし合う力

多様な個性

見つける力

見つける力(個性の理解)
・多様な視点の褒め言葉
・ポジティブな面の強調
・友達よいところ日記
・自分よいところインタビュー

認め合う力(個性の尊重)
・よいところ見つけ
・ほめ言葉シャワー
・よいところアルバム

生かし合う力(個性の活用)
・個性を生かす班づくり
・ミニ先生
・学び合う活動
・クラス新聞

発達障害児童と関わるマイナス面とプラス面

体験活動 多様性に関わる日常体験 つつみこみ 自己の在り方・生き方の問い

心が揺さぶられる対立の体験

多様な他者との協働体験

教師としての在り方

マイナス面

- ・ネガティブ思考の広がり
- ・排他性、ストレス、自信喪失
- ・コミュニケーションの分断
 - ← 向き合わず、相互理解をあきらめ
- ・指導力低下 ← 一力で押さえつける 画一的指導法
- ・秩序のないクラス

プラス面

- ・批判的、直観的、創造的思考力
- ・寛容さ、レジリエンス、謙虚さ
- ・ローコンテクストのコミュカ
 - ← 言葉の表面的な意味・本音を重視
- ・指導力向上 ← UD、個別最適化、柔軟で多様な指導法
- ・パワフルなクラス

B児（ブラジル人・知的障害）の実態



学びに向かう力・人間性

友達の保護者に平和の大切さを訴えた

ニュースへの
関心

多様性を
尊重する態度

よりよい社会を
共創する力

つづける プラス面

マイナス面

- 中級レベルの日本語力
- 誠実さ、まじめさ
- 優しく、人望がある
- 力持ち、運動が好き
- 豊かな感性
- リーダー性あり

- 語彙が少ない
- 時の概念の理解が苦手
- いじりに敏感
- ネガティブ感情の抑圧
- 不登校の兆候
- OLD（読む）、感覚過敏

社会「米朝首脳会談のニュースの意味を考えよう」2018.6.12

「新しい日本、平和な日本へ」6年

1. トランプ・金正恩が握手するニュース動画

どの国のリーダーか？

どうして大ニュースなのか？

2. 金正恩が北朝鮮のリーダーであること、地図で北朝鮮の位置を確認

身近な体験
関心との
つながり

3. 北朝鮮のミサイルの動画

「アラート、覚える？」

4. 米朝関係と日本のつながり

米朝が仲良くなると、
どうして日本にいいの？

5. 在日米軍基地の写真

これから日本はどうしたらいい？

6. 今後の日本の在り方

社会「日韓問題について、これから日本はどうしたらいいかを考えよう」

社会正義と寛容さの
つりあい？

「新しい日本、平和な日本へ」6年

身近な体験
関心との
つながり

1. 竹島における韓国の軍事演習ニュース動画

どの国と戦う練習か？

どうして戦う練習をしているのか？

2. 領土問題について、日韓の立場の違い

つりあい

3. 日韓関係の悪化の原因（徴用工等）を説明

多角的思考

4. 日韓問題ダイジェスト動画

つりあい

何してると思う？

5. W杯共同開催時の良好な関係の確認

どう思った？

6. ヘイトスピーチとカウンターデモの動画

多角的思考

7. フリーハグ活動の動画（日本ヘイト&韓国反日デモ）

つつみこみ

8. 今後の日本の在り方

これから日本はどうしたらいい？

道徳「いろいろな性について考えよう」

LGBT

公正・公平・社会正義

相互理解・寛容

1. イラストの性別を考える

このイラストの性別何でしょう？

2. ドラマ「おっさんずラブ」の感想

知ってる？

どう思う？

3. RebitのDVD「いろいろな性って何だろう」視聴

どう思った？

4. 違いを大切にするための工夫

何ができると思う？

5. 名古屋レインボープライドの動画

何のために参加していると思う？

6. 授業感想

どんな社会になってほしいのかな？

これからどうしたい？

道徳「哲学対話」

自己・他者
人間・価値

多面的・総合的
理解

ユーモア
と笑い

どう関わり
どう生きるか？

ネガティブ？
の「つつみこみ」

視覚支援の重視
= 学び方の多様性の尊重

学校放送の活用

対話のテーマ

- 第1回「なんでウンコでみんな笑うの？」
- 第2回「なんで夜はこわいの？」
- 第3回「なんで裸ははずかしいの？」
- 第4回「友達って、たくさん必要？」
- 第5回「ウンをつくの悪いこと？」
- 第6回「ルールって本当に必要？」
- 第7回「良いこと、悪いことってなに？」
- 第8回「カッコイイってたとえば？」
- 第9回「普通ってどういうこと？」



多文化共生「誇り・心・希望を広げよう」

違いがあるから

違いがあるから

ぶつかる



誇りをもてる！

不安



おもしろい！

離れる



成長できる！



希望

C児（ブラジル人）の変容



学びに向かう力・人間性

学習意欲の向上

多様性を
尊重する態度

多様性を活用して
共創する力

プラス面

マイナス面

- 中級以上の日本語力
- 優れた外国語力
- 優れた思考力
- 日本人と仲良くしたい気持ち
- 集中力

- 低い自尊感情
- ネガティブ思考
- 行動することが苦手
- 発言に消極的
- 宿題、提出物を出せない

多文化共生の学級づくり（5年生）

多文化共生体験の場の創出

- 文化の違いのよさを実感する体験（総合）
- 分かり合うよさを実感する体験（国語、外国語）
- 相互性を実感する体験（学活、社会）

カリキュラム
マネジメント

多文化共生体験の言語化（国語、学級経営）

- 日記テーマの工夫
- 新聞作り活動の活性化

体験活動

多文化共生体験の価値付け

- 多文化共生力と関連付け（全教科、学級経営）
- 子どもの体験の教材化（道徳）
- 人間の成長に関する哲学対話（道徳）

自己の
在り方・生き方
の問い

多文化共生「誇り・心・希望を広げよう」 (6年生)

- 絆を深めるためにできること (学活、社会)
- 全校集会で学びを発表しよう (総合)
- 多文化共生を劇で地域に伝えよう (総合)
- 多文化共生をビデオで伝えよう (総合)
- 共に平和に生きる知恵を歴史から学ぼう (社会)
- 地球の現実と希望を歌から学ぼう (音楽)
- カンボジアの子におもちゃを送ろう (総合)

希望
(共創)

カリキュラム
マネジメント

- 祖先のつながり (社会)
- 学校のよさを宣伝しよう (国語)
- 史跡を訪ねて誇りを見つけよう (社会)
- 自分の文化の誇りを見つけよう (総合)
 - ・アイデンティティ・フラワー
 - ・ブラジル人/日系人の誇り
 - ・震災時の日本人の行動に関する世界の評価
- 日本の伝統芸能を体験しよう (音楽)
- 和の文化を写真で表現しよう (修学旅行)

誇り
(自立)

心
(協働)

- 文化を教え合おう! (学活)
- 友達から外国語を学ぼう (外国語)
- 異文化の尊重 (道徳)

誇り 異質性と共通性の「つりあい」

社会「自分と歴史人物のつながりを感じよう」

約1350年 室町・尊氏

約1100年 平安・清盛
1億3千万人

国づくりのボタン

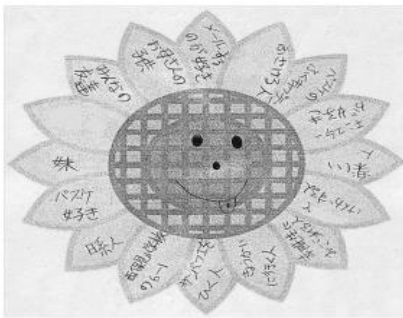
引用: 相田みつを (1975) 「いのちのボタン」

社会「保見の誇りを見つけよう」

総合「日系人の誇りを見つけよう」

誇り 個人の多様性の理解

総合「アイデンティティ・フラワー」



誇り 国語、学級経営：新聞作り活動

心 学級活動「文化を教え合おう」

心 宗教の多様性の尊重する態度

対話活動

先生、俺、神ってるでしょ!

神って何?

先生、人の生まれ変わりを信じる?

みんなはどう思う?

インドで神様になっている動物は?

神仏習合の寛容さ

社会「天皇中心の国づくり」 話し合い「もしもリーダーなら、仏教を取り入れるか?」

希望 共に平和に生きる知恵を学ぼう

社会「十七条の憲法」

- 1条 みんな仲良く
- 9条 信頼がすべて
- 10条 他人の失敗に怒らない
- 17条 大切なことは、話し合いで

学活「クラス憲法を作ろう」

寛容さ

体験活動

カリキュラム
マネジメント

道徳「信頼される人って?」

社会「冠位十二階」

話し合い活動「国づくりのリーダーは、家柄と能力のどちらで選ぶ?」
「能力が高くて、日本人でないと、えらくならない会社をどう思うか?」

社会正義

対話活動

自己の
在り方・生き方
の問い

社会「朝鮮の植民地化」

問い「朝鮮の学校で、朝鮮語、朝鮮の歴史の授業がなくなることをどう思うか?」
「日本の学校で、日本語しか使えないルールをどう思うか?」

希望 社会正義と寛容さの「つりあい」

どうする?

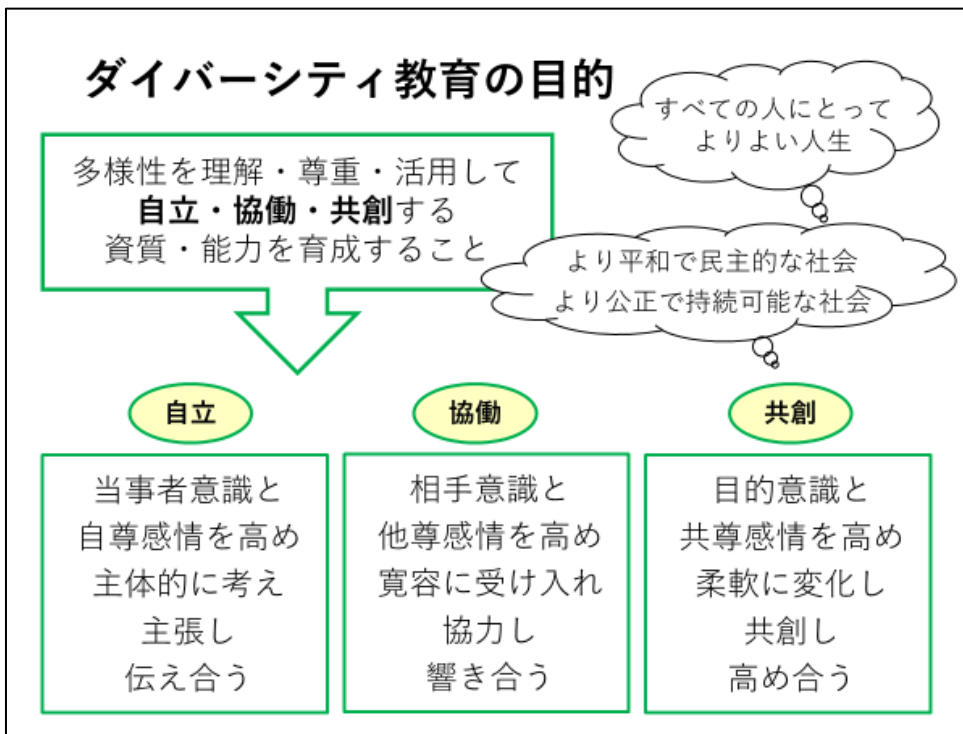
日本人が「外人!」って言って、自分のことを指でさしてきた。



「イエーイ!」みたいなことを言って、ピースする!

子どもの言動の価値づけ

ダイバーシティ教育の目的



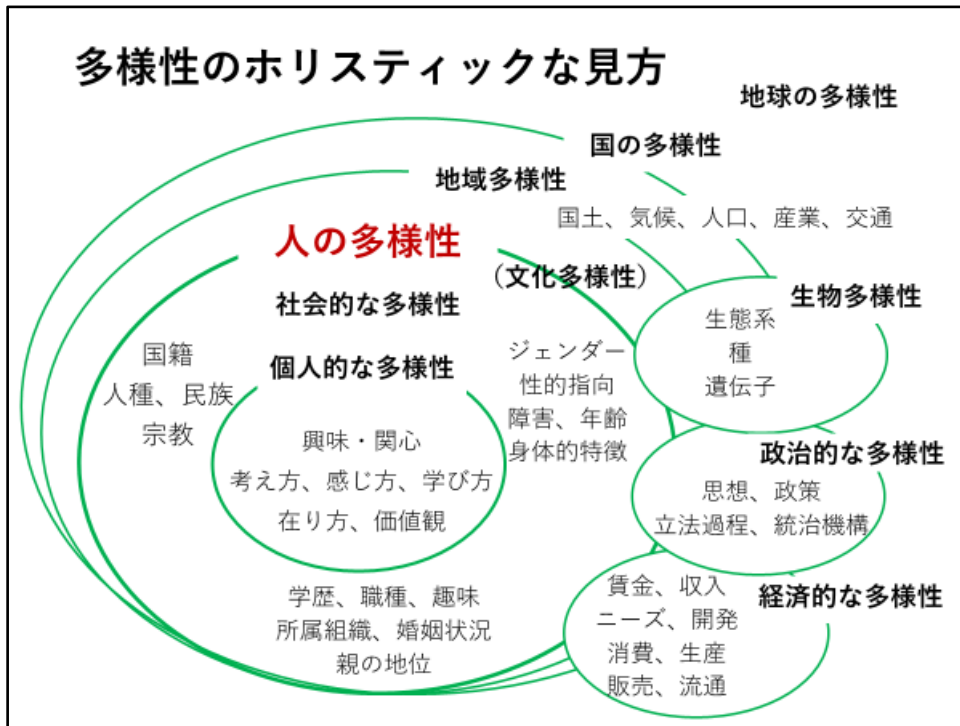
ダイバーシティ教育の内容

(1) 知識・技能

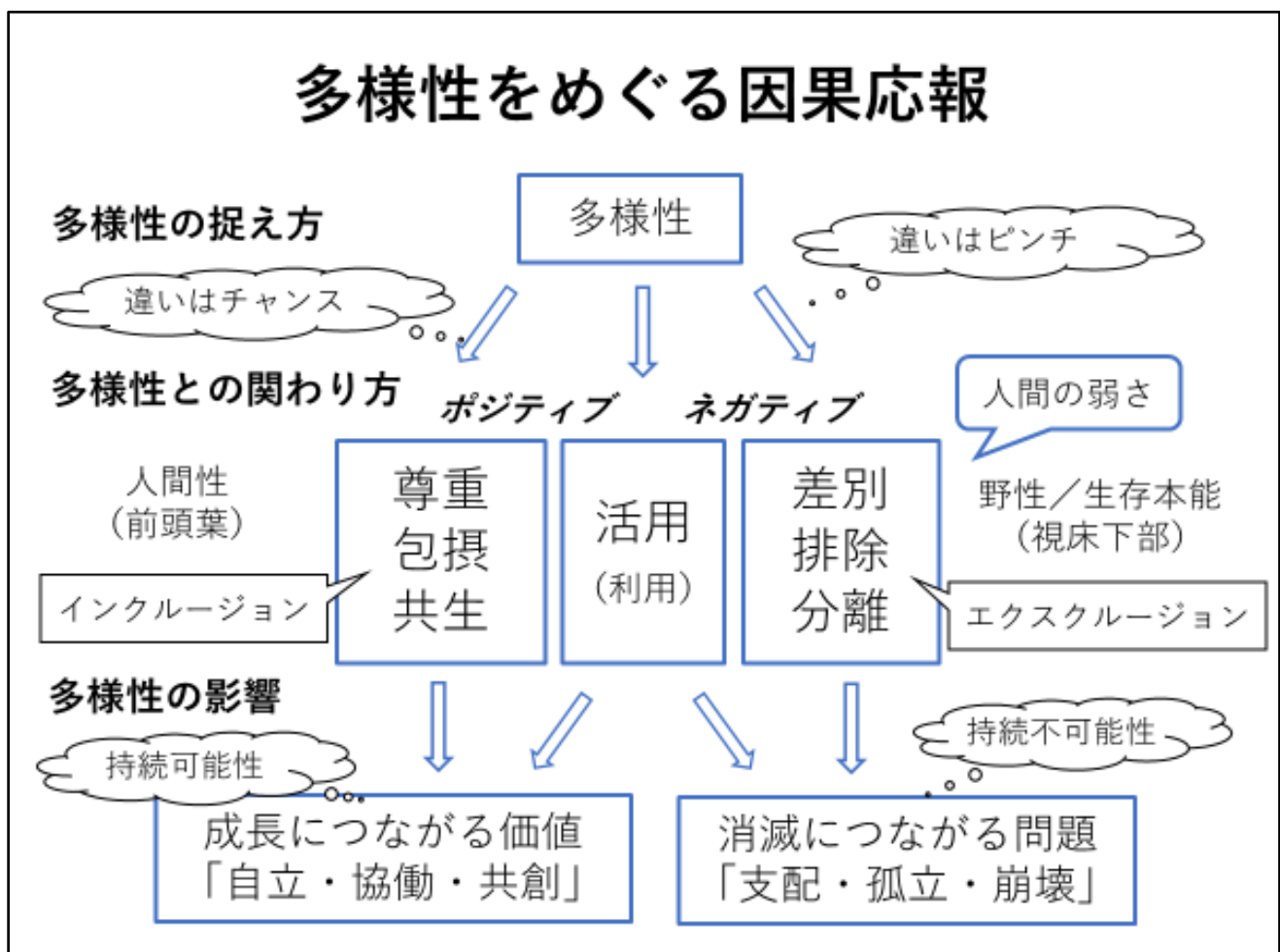
ダイバーシティ教育の必然性（知識） = 多様性との関わりを意識する機会の増大

・ エスニシティ：	日本における外国人数，国際結婚とダブルの数， オールドカマーとニューカマー，移民法（入管）法改正（2019 施行）， 政府の観光ビジョン「明日の日本を支える観光ビジョン」（2016） ・ 訪日外国人旅行者の推移，
・ 性的志向：	LGBT 児童への対応に関する文科省の通知「性同一性障害や性的指向・ 性自認に係る，児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」
・ 障害：	障害者差別解消法（合理的配慮とインクルーシブ教育）
・ いじめ・不登校：	社会的マイノリティへの配慮

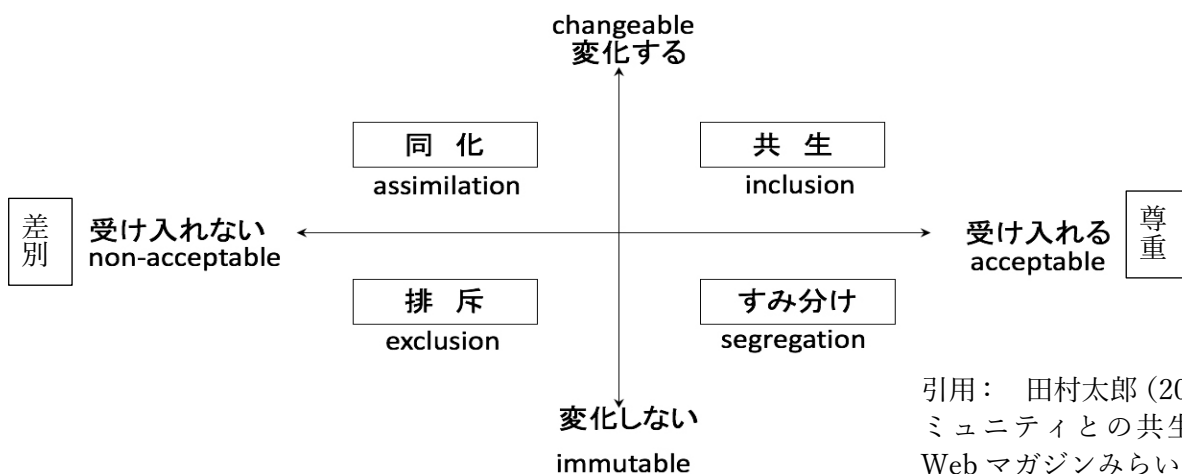
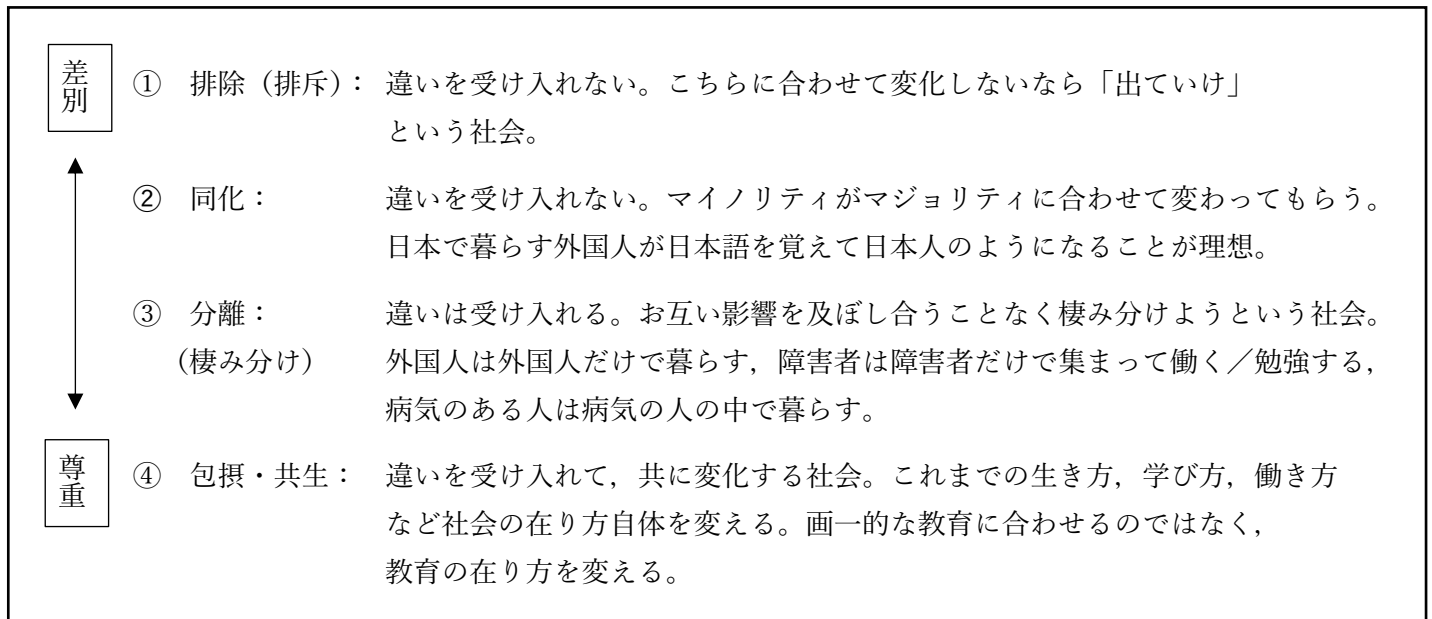
多様性（知識）



多様性の捉え方，多様性との関わり方 & 多様性の影響（知識）



多様性との関わり方の段階（知識）



引用： 田村太郎 (2018)「外国人コミュニティとの共生」『日立財団 Web マガジンみらい VOL.3』, p15

重要な概念： ESD 構成概念「相互性」（知識）

- 外国と日本の貿易関係
- 社会変容
 - ・ 移民をする側から，移民をされる側へ
 - ・ 国際協力を受ける側から，国際協力をする側へ
 - 渡来人・鑑真による援助，ユニセフによる戦後の支援，中国残留孤児
 - JICA や NGO による国際協力
- 復興支援： JICA の国際緊急援助隊と東日本大震災時の国際的な支援
- 人権問題： 中国人・韓国人の強制連行と拉致問題
- 人間と生物：「もしもハチがいなくなったら，人間の食料はどうなるか？」

人間の弱さ（知識）

㊦ 人間の攻撃性 ～ 脳科学の研究より

○ 本能としての攻撃性

- ・人間の攻撃性は、性のパートナーや食料を得たり、集団を維持したりする視床下部における生存本能（食欲・性欲・攻撃欲）と結びついている。
- ・攻撃をして、欲求が満たされると快樂ホルモン「ドーパミン」が分泌され、攻撃行動が強化される。
- ・「集団による攻撃は、一度攻撃が始まれば、誰もがその行為に『正義』を感じ、快感の中毒になる」
- ・思春期はテストステロンという攻撃性を高めるホルモンが分泌される。
- ・「人間は閉じられた環境におかれると、ストレスを感じ、人間性を司る前頭葉が機能しなくなり、攻撃的になる（そして、上下関係を形成する）」
- ・仲良くなると、愛情ホルモン「オキシトシン」が分泌され、仲間意識と同調圧力が強まる。同時に、妬みや排外感情も高めるために、いじめを助長する。

○ 攻撃の対象

- ・いじめを受けやすい人の身体的特徴は、体が小さい人、体が弱い人、太っている人、行動や反応が遅い人。身体的に弱く、リベンジが少なそうな人が選ばれている。
- ・異質な人「空気の読めない人」「外国人」「原発避難者」「女性的な話し方をする男性」「いじめっ子」異分子の排除は集団の崩壊を止める機能として備わっている。
- ・一人だけ得をしているように見えて、妬まれる人「何となく先生に気に入られている人」「少しだけ頭がよい子」「普通よりも少し顔が可愛い子」。心理学的には類似性と獲得可能性が高くなる時に妬みの感情が強くなる。
- ・「誰でもよかった」と証言した通り魔は、実際は子どもやお年寄りなど、リベンジが少なそうな社会的弱者を襲っている。

○ 攻撃性の制御法

- ・開かれた社会づくり： 席替え、クラス替え、「開かれた学校」づくり
- ・法律と司法制度： 基本的人権の尊重、社会的弱者の保護
- ・毅然とした態度と受容・慈愛の「つりあい」
- ・呼吸法： リラックスさせる機能をもった副交感神経を活性化させるには「吐く」行為が重要。
- ・外遊び： 日光を浴びて、運動をすると安心／幸せホルモン「セロトニン」が分泌される。

参考：中野信子（2017）『ヒトはいじめをやめられない～いじめと脳内ホルモンの危うい関係』小学館新書

㊦ 人間の不完全性 → 理解と受容「つつみこみ」

- ・「自分には想像できない『普通』がある」「相手にはどうにもならない『普通』がある」
- ・「でも、『普通』って、言っちゃうよね」
- ・「人間はみんな偏見をもっている。でも、多様性との関わりの中でその見方は広がっていく」
- ・「人間はみんな不完全。だからこそ、愛おしく、助け合い、人生を豊かにする存在である」
- ・「人間の思いは矛盾にあふれている。だからこそ、人生はおもしろい」
「関わりたいけど、関わりたくない」「愛しているけど、憎い」「違うけど、同じ」

ダイバーシティ教育の方法

(1) 概念・枠組みによる関連付け

① 地理的な単元（位置や空間的な広がり）の視点）

○ 文化多様性の「尊重」

6年「日本とつながりの深い国々」

アメリカ： 人種・民族, 多文化社会

韓国： 宗教（儒教）

サウジアラビア： 宗教（イスラム教）, 男女の区別（イスラム教, ジェンダー）

- ・問いにより, 多様性との関わり方, 自己の在り方・生き方を多面的・多角的に考察する。

「サウジアラビアの『男女の区別』は, あっていい違いか? あってはいけない違いか?」

「女性の基本的な人権は尊重されていると思うか?」

参考: アクティビティ『「ちがい」と『まちがい』』(大阪府人権協会 2011, pp.38-42)

- ・アクティビティ『「わたしは」ではじまる10の文章』(大阪府人権協会 2011, pp.32-33)によって, 自分の中の文化多様性に気づき, 周りの文化多様性と関連付ける。

○ 地域多様性の「活用」 → 価値の「共創」

5年「寒い土地の暮らし」

- ・事象を多様性との関わり方の観点から, 関連付け, 意味づける。

北海道の住民にとって, 雪という地域多様性は, 雪かきなど生活を大変にするもの（ピンチ）。

しかし, この雪を観光資源（チャンス）として「活用」することで, 外国人観光客が急増し,

地域創生（価値）につながっている。今では「英語を話したいなら, 冬の札幌に留学する」といい」

とまで言われている。

○ 経済的な多様性の「活用」 → 価値の「共創」

3年「店ではたらく人」

- ・消費者ニーズの多様性を「活用」して, 開発, 生産することで, 商品の多様性が生まれ, 選択の幅が広がる。

5年「これからの食料生産」

- ・時期を気にせず, 安い農作物が手に入る外国との貿易を通して, 消費者ニーズに対応したり, 利益を生み出したりすることで, 選択の幅が広がり, 便利になる。

② 歴史的な単元（時期や時間の経過の視点）

- 祖先のつながり：「包摂（インクルージョン）」
 - ・ 6年歴史の導入授業「歴史の中にはご先祖様が生きている」（齋藤武夫 2016）
- 外来宗教との関わり方
 - ・ 厩戸皇子の仏教の導入：「共生」
 - 「もしも大和朝廷のリーダーだったら、外来宗教の仏教を取り入れることに賛成か、反対か？」
 - 仏教を導入しながらも、神道を否定しなかった、厩戸皇子の政治は神仏習合の先駆けになったという見方もある。（齋藤武夫 2016）
 - ・ 織田信長のキリスト教の保護：「活用」
 - 「信長はどうして、キリスト教を保護したのか？」
 - 仏教勢力を弱体化し、支配を強化するために、キリスト教を「活用（利用）」した。
 - ・ 江戸幕府のキリスト教の禁止、島原の乱、絵踏み：「排除」
- 異なる民族との関わり方
 - ・ 日韓併合時の韓国人の日本語教育：「同化」
 - 「韓国語で授業が受けられなくなって、韓国人の人たちはどう感じたか？」
 - アイヌの人権問題や、外国人児童に対する現代の日本語教育との相違点や共通点を考えたり、「みんな同じ」を前提とする画一的指導の在り方を教師が自問したりする。
 - ・ 関東大震災時の多数の韓国人・中国人が噂により殺される事件：「排除」
 - 異質な存在が攻撃の対象となる、いじめ問題と関連付ける。ホロコースト、ルワンダ虐殺と比較をして、プロパガンダや噂を妄信する危険性を、メディア・リテラシーとつなげて指導する。また、権力を維持するために外敵を意図的につくる戦略、「スケープゴート」の概念を使って、類似する事象の理解を深め、批判的思考を育む。
- 社会的身分をつくる関わり方：「差別」
 - ・ 「厳しく差別されてきた人々」、「山田少年の差別をなくす訴え」
 - 同和問題における、就職差別、結婚差別を理解したり、アイヌに対する偏見や差別の問題同様に、国が差別のない公正な社会をつくるために法律をつくり、人権を保護したりしていることを理解する。身分制度と、「スクールカースト」のつながりを考える。
- 女性の政治への関わり方
 - ・ 女性リーダー・安倍への期待（「活用」）、女性「差別」から参政権獲得までの歴史。

③ 公民的な単元（人間と社会の在り方の視点）

- 平和で民主的な社会を目指す国と学校： 「尊重」「包摂」「共生」
 - ・ 国政と学級経営，選挙と学級委員決め，戦争とけんか等，世界，国，地域など，大きな社会の事象を学校社会の事象と関連付ける。

- 基本的人権の尊重と人権課題： 「差別」「排除」・「尊重」「共生」
 - ・ 偏見や差別の多様な人権課題，ヘイトスピーチ，いじめ，ハラスメントを関連付けて理解したり，解決に向けて対話を重ねたりする。

- 性別・国籍・障害の有無で「分離」する学校運営
 - ・ 男子校・女子校，日本人学校と外国人だけの学校，通常学級と特別支援学級の棲み分けについて，どのように考えるかを問い，多面的・多角的にその価値を考える。

- 多様性の活用による価値の「共創」
 - ・ ユニバーサルデザイン（建築・製品・情報などの設計）
 - 「おすすめのユニバーサルデザインを調べて紹介！ ベスト3を選ぼう」
 - 「つくってほしい，あったらいいなと思う，ユニバーサルデザインを提案しよう」
 - ・ 教育のユニバーサルデザイン
 - 「特別支援学校との交流体験を計画しよう」
 - ・ LGBT の社会運動： レインボーフラッグ，レインボーパレード，レインボー消費
 - 「レインボーグッズを作ろう」

- ワークライフバランスなど多様な働き方の「尊重」：
 - ・ 6年歴史「貴族の暮らし」
 - 「平安時代の貴族は，リーダーとして失格か，それとも，素晴らしいか？」（齋藤武夫 2016）

対話活動

① 問い

○ 多様性

内なる多様性：	「あなたはどんな人？」「自分らしさって、何？」 「日本の社会にはどんな多様性がある？」
人種：	「肌色って、どんな色？」「世界の人の肌はみんなその色をしているの？」
民族：	「豆を甘くした餡子は好き？ ご飯に練乳をかけたライスプリンは？」
性的指向：	「もし生まれ変わるなら、男子、女子、それとも LGBT？」「どうして？」
宗教：	(「おれ神ってる！) → 「神って何？」「どういう存在？」「人とどう違うの？」 「天皇を神だと思うか？」 「神についての自分の考えを『違う！』って、相手に否定されたら、どうする？」
生き方：	「自分らしく生きることは大切か？ どうして？」

○ 多様性との関わり方

全般：	「国／社会／歴史上のリーダーは、どのように多様性に関わってきたのか？」 「歴史上のリーダーは自分の権力（支配力）を強めるために何をしたのか？」 「どういう人がいじめられるか？」「人はどうしていじめめるの？」 (いじめのターゲットになりやすい人の特徴 = 社会的マイノリティ)
宗教：	「歴史上のリーダーは、外来宗教にどのように関わってきたか？」
国籍：	「日本に住む外国人は日本語を学び、日本のやり方を覚えるべきか？」 「日本人は変わる必要はないか？」
障害：	「『空気を読む』ことは大切か？ どうしてか？」 「『空気が読めない人』には注意をして『空気が読める』ようにしてあげるべきか？」
仲間意識：	「仲良くなると、違いを出せるか、出せないか？」 「違いを出すと、どうなるのか？」 「もし家族を殺されたら、復讐するか？」「正義とは何か？」

○ 多様性の影響

全般：	「多様性との関わりは、国／社会／自分をよくしてきたのか？」 「何がきっかけで、社会は変わるのか？」
ポジティブ：	「歴史上のリーダーは、どのように権力を強めたか？」 「何がきっかけで、人は成長するのか？」 「もしもみんな同じだったらどうなる？」

(障害) * 「誰がクラスを成長させたか？」

「もしも A さん（発達障害児）がいなかったら、クラスは成長できたか？」

「A さんは、クラスをどのように成長させたか？」

→ 本音コミュニケーションの活性化。深い思考の促進，創造性の発揮，
多様な他者と協働する力の育成*

ネガティブ： 「差別・排除・無視・同化・分離をした結果，どのようなことが起きたか？」

「多様性を排除すると，どうなる？」

「いじめられた人は，どうなった？」

*参考： 幸田隆（2017）「発達障害児童と共に創るグローバル時代の教育実践」、『未来を拓く教育実践学研究 第2号』共創型対話学習研究所，三恵社，pp.160-169

○ 多様性の価値

全般： 「あっていい違いか？ あってはいけない違いか？ 危険な違いでは？」
(大阪府人権協会 2011, pp.38-42)

国籍： 「外国人が増えているのは，いいことか？」

性的指向： 「男子が男子を好きになってはいけないか？」

「男性同士，女性同士の結婚をどう思うか？」

宗教： 「イスラム教における男女の区別はあっていい違いか？」

働き方： 「平安時代の貴族はリーダー失格か，すばらしいか？」

○ 前提 → 批判的思考の育成： 哲学対話による「深い思考，深い学び」

「普通」： 「普通って何？」「普通って，本当にみんなにとって普通？」
『『みんな同じ』と考えている？ それとも，『みんな違う』と考えている？』
「みんな違うことを意識していないのは，どうしてか？」

人間の攻撃性： 「いじめは悪い子だけがやること？」
「攻撃的になるのって，いつでも悪いこと？」
「みんな人間の弱さをもっているの？」

社会の在り方： 「そもそも，みんなが幸せになる社会をつくれるか？」「作る必要があるか？」

関係性： 「対等な人間関係は本当に築くことができるのか？」

関わり方： 「多様性を尊重することは絶対必要なことなのか？」
「多様性を排除することはいつでも悪いことなのか？」
「そもそも，みんなと仲良くしなければいけないか？」

「みんなと仲良くするのが正しいこと？」「友達が多いのがいい子？」

価値観： 「団結って，本当にいいこと？」

「団結がいじめを生むことは？」「愛情が強いほど攻撃的になることは？」

「仲間を大切にすることが戦争につながってしまうことはないか？」

宗教： 「日本は違いを受け入れることが、本当に不得意か？」

障害： 「普通、我慢できる」→「本当にみんな我慢できるのか？」
 = 「みんな同じ」と思っていることの中の多様性（感じ方）の探究

「普通、自閉症の子どもには無理」→「本当に無理か？」

「(障害をもっている人を含めて) みんな自己実現の可能性をもっているのか？」

「みんな同じ人間として平等なの？」「みんな個人の尊厳をもっているの？」
 = 「みんな違う」と思っていることの中の共通性（人間の可能性）の探究

② 話し合い活動

○ 意思決定

国づくり政策：

- ・縄文から弥生へ「もしも縄文時代のリーダーだったら、変わるべきか、変わらないべきか？」
 - A： 米作りや金属の道具など、新しい文化（多様性）を受け入れ、より進歩する。
 - B： 新しい文化は受け入れず、今までの暮らしを守る。
- ・天皇中心の国づくり「もしも大和朝廷のリーダーなら、どちらを選ぶか？」
 - A： 能力の高い人が、国のリーダーになるべき。
 - B： 天皇家の血筋つながる人が、国のリーダーになるべき。
- ・冠位十二階「もしも大和朝廷のリーダーなら、どちらを選ぶか？」
 - A： 能力の高い人が、国づくりの仕事につくべき。
 - B： 家柄のよい人が、国づくりの仕事につくべき。
- ・厩戸皇子の仏教導入「もしも大和朝廷のリーダーなら、仏教を導入するか？」
 - A： 仏教を導入して、外国文化のよさに学び、大国と仲良くしていく。
 - B： 仏教は導入せず、日本の伝統文化のよさをを守る。
- ・江戸幕府のキリスト教禁止令「もしも江戸幕府のリーダーなら、キリスト教を禁止するか？」
 - A： キリスト教を禁止する。
 - B： キリスト教を保護する。
- ・幕末における日本の道「もしも幕末の誇り高い武士だったら、どちらを選ぶか？」
 - A： 開国し、不平等条約を守り、新しい国づくりを進める。
 - B： 条約を破棄し、欧米と戦い、「排除」し、新しい国づくりを進める。

参考： 齋藤武夫（2003）『学校で学びたい歴史』産経新聞ニュースサービス

現代社会の時事問題：

- ・国籍： 「移民を受け入れるべきか？」
「日韓問題で、日本はどうするべきか？」
- ・宗教： 「日本の学校でも、ヒジャブの着用を禁止するべきか？ 許可するべきか？」
- ・ジェンダー： 「女性が大相撲の土俵に上がれないルールは廃止すべきか？」
- ・考え方： 「捕鯨を続けた方がいいか？ 国際捕鯨委員会からの脱退は正しいか？」

○ 問題発見・解決

- ・平和な社会づくり：
「どうすれば、戦争／いじめ（多様性の差別・排除・分離）をなくせるか？」
→ 基本的人権の尊重など法の支配が重要
- ・公正な社会づくり
「どうすれば、すべての人が幸せになる社会をつくれるか？」
「どうすれば、思い込み、偏見、決めつけ、過信、無関心を克服できるか？」

○ 合意形成

参考： 藤原孝章（2017）『シミュレーション教材「ひょうたん島問題」－多文化共生社会ニッポンの学習課題，明石書店

体験活動

① 多様性に関わる日常体験

日々の学校生活にある多様性、その場にいる人の多様性や、多様性との関わり方を、朝の会、帰りの会、学活等で、振り返り、多面的・多角的な思考を促したり、成長につながる価値を生み出したりする。

- ・ 障害： 対話活動における発達障害児のよさ*
私語等の授業妨害と憲法とのつながり
- ・ 宗教： 宗教上の制約（国旗掲揚・国歌斉唱・輸血拒否傾向等）をもったが保護者が、学級行事「ハロウィンパーティ」で、魔女やモンスターに仮装するのをやめてほしいと要望
→ 「野菜おぼけ」という創造的な案を「共創」
- ・ 国籍： 外国人児童との文化の教え合い活動
- ・ ジェンダー： 歯磨きコップの色：「女子はピンク、男子は青」
- ・ 性的指向： 冷やかし・いじり「おかま」「ホモ」「話し方、きもっ」
- ・ 身体的特徴： 冷やかし、いじり「でぶ」「がりがり君」「ちび」「くるくるパー（髪質）」

いじめ
人権問題
としての
対応

② 多様性を楽しむ体験

○ 3F体験（国際理解教育）

- ・ Food ブラジルお菓子づくり，世界の料理体験（給食，リトルワールド見学）
- ・ Fashion 民族衣装体験（リトルワールド見学）
- ・ Festival 世界の遊び，世界の文字で名前を書こう，サンバ発表（地域人材の活用）

○ パラスポーツ体験（オリパラ教育）

- ・ 国際パラリンピック委員会公認の教材「I'm POSSIBLE」
- ・ 体育「あすチャレ～パラスポーツ出前授業」（日本財団パラリンピックサポートセンターの活用）
- ・ 体育「パラスポーツ，ボッチャを楽しもう」

③ 思いやりを育む体験（社会福祉協議会との連携）

- 障害体験： 総合「人に優しく～福祉編」 妊婦体験，高齢者体験，視覚障害者体験，車いす体験
- 国際協力体験（JICA・NGO との連携）
 - ・総合「JICA 中部地球ひろば見学」
 - ・総合「世界一大きな授業ワークショップ」 NGO の JNNE)
 - ・総合「布チョッキン・プログラム～カンボジアの子どもたち」(NGO の幼い難民を考える会)
 - ・総合「平和のキルトづくり～フィリピン」(NGO の ICAN)

参考： 幸田隆（2014）「人に優しく～国際理解編：地球の課題を知り，自分ができることをしよう」，
JICA グローバル教育コンクール

④ 多様性へのリスペクトを育む／広げる体験

- 多文化共生教育
 - ・学活「文化を伝え合おう」
 - ・外国語「友達からポルトガル語やスペイン語を学ぼう」
 - ・総合「多文化共生劇を創ろう」
 - ・総合「多文化共生のよさをビデオで伝えよう」

参考： 幸田隆（2013）「多文化共生：誇り・心・希望を広げよう国際理解教育70時間の実践の奇跡」，
JICA グローバル教育コンクール

- 移民教育（海外移住資料館の活用）
 - ・総合「日系人の誇りとは何だろう～リサ先生の体験談」
 - ・学芸会創作劇「ハルとナツ～共に生きる（移民）」

- オリパラ教育（地域リソースの活用）
 - ・体育「パラ選手とのスポーツ対決（と指導）」
水泳の元パラ選手（高齢者），車いすバスケットの元パラ選手，陸上のパラメダリスト
 - ・総合「リスペクトって何？ ～パラ選手の体験談」
 - ・学芸会創作劇「飛べ明日に向かって（障害）」

参考： 幸田隆（2016）「広げよう！ リスペクトの心～オリンピック・パラリンピック教育を通じた
グローバル教育」，JICA グローバル教育コンクール

- 生物多様性教育（地域人材とトヨタ・エコフルタウンの活用）
 - ・総合「学ぼう！ 生き物のすごさ～バイオミメティクス」（エコフルタウン見学と調べ学習）
 - ・総合「ハニカム構造実験対決」
 - ・道徳「ラ・クカラーチャ（ゴキブリ）」
 - ・学芸会創作劇「おかげさまです（生き物）」

参考： 幸田隆（2016）「つながりを尊重する態度をもった子どもをめざして～遊び心と感性を生かした
ESD 多様性教育の実践」，豊田市教育委員会

自己の在り方・生き方への問い

教師としての在り方 → 教師のメタ認知力の育成

○ 自己内対話の重要性

- ・「学びに向かう力・人間性」を育むには、授業力と在り方のどちらが重要か？
- ・「学びに向かう力・人間性」を、自分はどのように学んだか？
- ・もしも教師が教えたことと、教師がしていることが矛盾していたら？
- ・AIにはできない教育とは？

○ 教師の日常的な言動の振り返り

- 「教師は多様な他者と関わろうとしているか？」「協働・共創できているか？」
- ・「あの先生と一緒に学年になりたくない！」
 - ・「(学級編成で) あの子はいらない！」 (あの子・・・発達障害児童, 外国人児童)
 - ・「体操服を着るのが嫌で学校を休む？ 学校に行くのは子どもの仕事！」
 - ・「一体いつになったら、朝の会の前に連絡帳を書けるようになるの！」
 - ・「アイコンタクトは大事！ 何度も言ってるんだから、やってよ！」
 - ・「あの(クレーマー的な)親がいなければ、人生もっと平和！」

おもしろい授業づくり のためのアイデア

① 身近な興味との関連付け

例) 「宗教」の多様性を楽しみながら学ぶアイデア

- ・ジブリ映画の中の日本の神々
- ・日本の神話の動画の視聴
- 「外国の神様だらけの七福神」 = 宗教に対する寛容な態度 (シンクレティズムの事例)
- ・世界遺産の宗教建築物: 社会見学で、神社や寺院を訪れるタイミングと連動させる
- ・ヒンズー教のおもしろ神様 (ガネーシャ, ハヌマーン等) カード
- ・宗教上タブーの肉: イスラム教外国人旅行者に「優しい」レストラン・・・ハラールフード
- ・衣装「ヒジャブ」: サウジアラビアのオリンピック女子チームのユニフォーム, ヒジャブゆかた

② 時事問題

- ・動画「ジャシンダ首相によるモスク乱射事件に関するスピーチ (ニュージーランド手話システム)」:
「ジェンダー」「障害」「多言語」「宗教」→「共生」
<https://ideasforgood.jp/2019/04/09/newzealand-after-mosque-attack/>
- ・動画「オーストラリア女性議員が法律にのっとり国会で授乳」: 「ジェンダー」→「尊重」
https://www.telegraph.co.uk/news/2017/06/22/australian-senator-breastfeeds-baby-moving-motion-parliament/?WT.mc_id=tmg_share_tw
- ・動画「ヘイトスピーチに対してフリーハグ・イベントを行った韓国人」: 「民族」→「差別」「排除」「共創」
<https://www.youtube.com/watch?v=Ob6QediH92w>
- 動画「日本人が反日デモでフリーハグをしてみた」 <https://www.youtube.com/watch?v=nyQ5YCsAq2w>
- ・手話カフェ「Sign with me」の人気: 「障害」→「共創」
<https://style.nikkei.com/article/DGXMZO86187020X20C15A4000000/>
- ・動画「耳で聞かない音楽会～落合陽一」: 「障害」→「共創」
<https://bouncy.news/13289>

③ 視覚支援教材の活用

○ NHK 学校放送

・ 国籍

総合「ドスルコスル」

「どうする？外国の人たちとの共生」(第19回)

「こうする！多文化共生への一歩」(第20回)

https://www.nhk.or.jp/sougou/dosurukosuru/?das_id=D0005180268_00000

・ 障害

特別支援「u & i」

<https://www.nhk.or.jp/tokushi/ui/>

・ 哲学対話

総合「Q～こどものための哲学」

<https://www.nhk.or.jp/sougou/q/>

○ その他の動画教材

・ 性的指向

動画「いろいろな性って何だろう？」, NPO 法人 ReBit

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/shougakko>

動画「It's Time | Marriage Equality (結婚の平等)」, GetUp! Australia

https://www.youtube.com/watch?v=_TBd-UCwVAY

【参考文献】

大阪府人権協会 (2011) 『ちがいのとびらー多様性と受容ー』 人権学習シリーズ vol. 4 ,pp.32-33

幸田隆 (2011) 「自信をもって主体的に行動し、文化の違いを尊重し、違いを生かして、協力し合おうとする子どもをめざして～合科的、関連的、継続的な体験学習による、多文化共生の学級づくり」, 愛知教育文化振興会 <http://ghconsult.org/ronbun/kodakyousei23b.pdf>

幸田隆 (2013) 「多文化共生：誇り・心・希望を広げよう国際理解教育70時間の実践の奇跡」, JICA グローバル教育コンクール
https://www.mediasoken.jp/mri-education/core_sys/images/others/forumpdf/kodakyousei24.pdf

幸田隆 (2014) 「人に優しく～国際理解編：地球の課題を知り、自分ができることをしよう」, JICA グローバル教育コンクール
https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/global_edu/2013/ku57pq00000cy2r2-att/02_03.pdf

幸田隆 (2015) 「にじのせかいをつくろう：想像力と遊び心を生かしたESD」, JICA グローバル教育コンクール
https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/global_edu/2014/ku57pq00000dy4p7-att/02_05.pdf

幸田隆 (2016) 「つながりを尊重する態度をもった子どもをめざして～遊び心と感性を生かしたESD 多様性教育の実践」, 豊田市教育委員会

幸田隆 (2016) 学芸会創作劇「おかげさまです (生き物)」
<http://ghconsult.org/ronbun/okagesama20170921koda.pdf>

幸田隆 (2016) 「広げよう！ リスペクトの心～オリンピック・パラリンピック教育を通じたグローバル教育」, JICA グローバル教育コンクール
https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/global_edu/2016/jhqv8b0000006x3u-att/02_10.pdf

幸田隆 (2017) 「発達障害児童と共に創るグローバル時代の教育実践」, 『未来を拓く教育実践学研究 第2号』 共創型対話学習研究所, 三恵社, pp.160-169

国際パラリンピック委員会(2017～2019)「パラリンピック教育教材『I'm POSSIBLE(アイム・ポッシブル)』」
<https://education.tokyo2020.org/jp/teach/texts/iampossible/#text>

齋藤武夫 (2003) 『学校で学びたい歴史』 産経新聞ニュースサービス

齋藤武夫 (2016) 『授業づくり JAPAN の日本が好きになる！歴史全授業』 授業づくり JAPAN 埼玉

多田孝志, 佐藤学, 諏訪哲郎, 木曾功/実践事例報告者: 幸田隆等 (2015) 「日常的な活動を生かした多様性教育の実践」, 『持続可能性の教育－新たなビジョンへ』教育出版, pp.94-103

<https://researchmap.jp/mu903vimg->

[2246457/?action=multidatabase_action_main_filedownload&download_flag=1&upload_id=151095&metadata_id=240166](https://researchmap.jp/mu903vimg-2246457/?action=multidatabase_action_main_filedownload&download_flag=1&upload_id=151095&metadata_id=240166)

田村太郎 (2018) 「外国人コミュニティとの共生」『日立財団 Web マガジン「みらい」VOL.3』, p15

http://www.hitachi-zaidan.org/mirai/03/paper/pdf/Tamura_treatise.pdf

中野信子 (2017) 『ヒトははじめをやめられない～はじめと脳内ホルモンの危うい関係』小学館新書

成田喜一郎 (2013) 「ESD カリキュラム及び授業デザインの理論と方法: カリキュラム開発の方法を探究する」『東京学芸大学教職大学院年報』第2集, pp.11-12

にしゃんた (2018) 「外国人から見た日本の多文化共生」『日立財団 Web マガジン「みらい」VOL.3』

http://www.hitachi-zaidan.org/mirai/03/paper/pdf/nyanta_treatise.pdf

藤原孝章 (2017) 『シミュレーション教材「ひょうたん島問題」－多文化共生社会ニッポンの学習課題』明石書店

文部科学省 (2016) 「性同一性障害や性的指向・性自認に係る, 児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について」

http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/28/04/_icsFiles/afieldfile/2016/04/01/1369211_01.pdf

ReBit (2018) 「Ally Teacher's Tool Kit (アライ先生キット) ～小学校高学年向け LGBT 教育教材」

<https://rebitlgbt.org/project/kyozai/shougakko>